

教職員研究チーム活動状況報告書

代表者の所 属・職・氏名	多可町立中町中学校 職・氏名 教諭 森安 祥平	研究チーム名 (多可町中学校若手教員研究会)
-----------------	----------------------------	-----------------------------

研究テーマ分類番号 (8)

(1) 研究テーマ	
生徒同士の人間関係づくりを大切にする学級経営	
(2) 研究経過及び具体的な取組	
8月 8日 (月)	<p>学級経営のポイントについて研修 講師：元西宮市教育委員会人権教育室指導主事 場所：多可町中央公民館 参加者：27名 内容：授業づくり・学級づくりは、子どもの理解に始まり、子どもの理解に終わる。難といっても授業が一番。授業のうまい先生になる！ 授業を通しての学級づくりなど、講師の実践例から学ぶ。</p> <p>成果と課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの実践例を学び、実際に新学期から、自分たちの学級経営にいくつかの実践を取り入れてやってみようという意欲がわいた。 ・人間関係づくりを大切にしたい学級経営は、「できるかできないか」ではなく、「するかしないか」が大切であることが分かった。
8月17日 (水)	<p>学級経営の実践と振り返り 内容：学級活動「伝言ゲームを生かした取組」 伝言ゲームを行い、話をするときの位置関係によって、相手にどのように影響するかを体験を通して考える。コミュニケーション力は、相手の様子を見たり、分からないことを質問したりすることで深まっていくことに気づく。</p> <p>振り返り結果 (生徒の感想より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人に何かを伝える仕方、方法をしっかりと考えることができた。 ・伝えたいことをきちんと伝えていても、聞く人がきちんと聞いていなければ、お互いの心は通じ合わないということが分かった。
10月24日 (月)	<p>学級経営の実践と振り返り 内容：学級活動「言葉でキャッチボールの取組」 コミュニケーションには、非攻撃的コミュニケーション・攻撃的コミュニケーション・アサーティブコミュニケーションの3種類があることを理解し、簡単なロールプレイによって、それぞれの話し方を体験し、互いを大事にしたコミュニケーションの大切さに気づく。</p> <p>振り返り結果 (生徒の感想より)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今まで、人に伝えることをあまり大切にしていなかったけど、今度からは言葉一つ一つを大切に、相手の心に伝わるような話し方をすることが大切であると分かった。 ・話したいことはあったけど、友だちに何か言われるかと思い、とても不安な気持ちで、あまり言えなかった。
今後の予定	
1月 6日 (金)	「学級経営の実践 一文字にすることは大切」の研修
1月下旬	学級経営の実践課題について検証及び研究のまとめ